

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成24年10月18日(2012.10.18)

【公表番号】特表2012-506497(P2012-506497A)

【公表日】平成24年3月15日(2012.3.15)

【年通号数】公開・登録公報2012-011

【出願番号】特願2011-532541(P2011-532541)

【国際特許分類】

A 41 B 11/00 (2006.01)

【F I】

A 41 B 11/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月28日(2012.8.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

弾性的に撓む材料から成る、皮膚に着用するための圧迫衣類であって、部分的に、圧迫のための手段が設けられており、前記圧迫のための手段が、ウェブ(3)により形成されていて、該ウェブが皮膚(2)に面した側に設けられていることを特徴とする、皮膚に着用するための圧迫衣類。

【請求項2】

前記ウェブ(3)が、材料厚さを高めることにより生ぜしめられている、請求項1記載の圧迫衣類。

【請求項3】

前記ウェブ(3)が、ほぼ三角形の形状を有している、請求項1記載の圧迫衣類。

【請求項4】

前記ウェブ(3)が、規則的な間隔を置いて配置されている、請求項1から3までのいずれか1項記載の圧迫衣類。

【請求項5】

前記ウェブ(3)が、コーティング(7)を備えている、請求項1から4までのいずれか1項記載の圧迫衣類。

【請求項6】

弾性的に撓む材料から成る、皮膚に着用するための圧迫衣類であって、部分的に、圧迫のための手段が設けられており、前記圧迫のための手段が、織布ストリップ(8)により形成されており、該織布ストリップ(8)が、衣料のベース織布とは異なる弾性を有していることを特徴とする、皮膚に着用するための圧迫衣類。

【請求項7】

前記手段(3, 8)が、中断部(34, 81)を有している、請求項1から6までのいずれか1項記載の圧迫衣類。

【請求項8】

前記手段(3, 8)が、水平方向に方向付けされている、請求項1から7までのいずれか1項記載の圧迫衣類。

【請求項9】

前記手段(3, 8)が、鉛直方向に方向付けされている、請求項1から7までのいずれ

か 1 項記載の圧迫衣類。

【請求項 10】

前記手段（3，8）が、螺旋状に方向付けされている、請求項1から7までのいずれか1項記載の圧迫衣類。